

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2026 1 Jan No.68

みんなの夢

2026年1月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人 名北福祉会

発行人／佐藤 悦弘

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



めいほくの家のみなさんと作成しました。

謹んで新春をお祝い申し上げます

理事長 佐藤悦弘

みなさまにおかれましては、すこやかに新年をお迎
えのこととお喜び申し上げます。そして日頃から、法
人運営に温かいご支援・ご協力を賜り、心より厚く御
礼申し上げます。

昨年は戦後・被ばく80年の節目の年でしたが、世界
で戦争が継続され、核兵器の使用も危ぶまれる状況が
続きました。

国内では、新たな政権が発足したものの、給与が上
がらない中での物価高騰、社会保障費の抑制と軍事費
増により、国民のいのち・暮らし、人権が脅かされる
事態が続いています。あらためて、私たちの地域から
声をあげていくことが大切であると感じていきます。

さて保育・福祉の現場でも、職員不足が深刻化して
いますが、昨年夏休みには30人を超える地域の小中高
生が、名北の園・施設に体験実習に来てくれました。
その多くが卒園児のみなさんでした。本当に嬉しい限
りです。

厳しい情勢を跳ねかえし、分野・団体の枠を超えて
つながり、一人ひとりが安心して暮らせる地域ができ
るよう、進めてまいります。本年も引き続き、みなさ
まのご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げ
ます。

障がい部



のびのびクラブ

みんなで育てる笑顔の時間

作って食べる嬉しさやおいしさを実感できるおやつや昼食作り、おもしろい感覚を肌で感じるスライムあそび、個性が溢れる作品作り…。毎日たくさん活動をしています。「のびっこ」の子どもたちを招待し、みんなでおもったりもしていました。水風船やお菓子釣り、ゲームやポテトやチキンナゲットなどを食べて楽しみました。積極的にお手伝いしてくれ、準備



が整うと「できました!!」と元気に教えてくれていました。

取り組むことの楽しさ、みんなに喜んでもらえること、交流することなど、たくさん経験することができました。

のびっこ

挑戦が力になる!

「お山のすべり台たのしい!」「一緒に遊ぼうよ!」みんなで愛知県児童総合センターに行きました。トンネルや綱のはしご、橋、視覚や感触を楽しむゾーンなど、子どもたちが喜ぶ遊具がいっぱい!「ちよつと怖かったけど、できたよ!」「○○くんがやっていたからばくもやってみようかな」普段できないことをいっぱい楽しんで大満足でした。

のびっこでは、土曜日にコース別でお出かけ活動をやっています。その他にもリニア鉄道館やトラン



ポリン施設など、子どもたちの興味関心のあることをテーマに取り組んでいます。今年も子どもたちの「行きたい!やってみたい!」を大切に、楽しくお出かけします。

めいほく共同作業所

手しごとがつなぐ笑顔

今年で三回目となるさつま芋の収穫。今年は9月頃からあまり畑に行けなくなり、追肥や雑草の処理などできないまま収穫時期を迎えてしまいました。収穫前に一度畑の中を確認してみると、栄養が行き届かなかったためか夏の暑さ

のせいか、出来た芋はかなり小さく去年の半分以下の大きさ。他にも芋ができているのか半信半疑な状態でしたが仲間5人と収穫を行いました。

スコップやシャベルを使いながら一つのつるの先を丁寧に掘っていくと…芋が出てきました!かなり細身の芋でしたがさつま芋です。寒空の中でしたが、ある仲間は最後まで丁寧に芋を掘ってくれました。職員体制の都合でなかなか畑に向かうことが難しかった今年ですが、小さくても採れた芋を見て仲間はとても満足そうでした。自然と触れ合う、自分の手で行う仲間にとっては大事な活動の一つだと思いました。





めいほくホーム

みんなで囲む食卓

めいほくホームで週に一度行っている晩酌会は、みなさんが楽しみにしている時間です。

食卓には、それぞれが好きな飲み物やおつまみが並び、自然と笑顔がこぼれます。仕事や日中活動を終えて戻ってきたあと、「おつかれさま」と声をかけ合いながらコップを掲げる姿からは、安心で

きる仲間とのつながりが伝わってきます。ただ飲むだけの場ではなく、近況を話したり、冗談を言い合ったり、時には真剣に相談を聞き合ったりと、日々の暮らしを支える大切な交流の時間にもなっています。

ホームでの生活は、食事や入浴などの日常の積み重ねですが、こうした団らんのあることで、より豊かな人とのつながりを感じられる暮らしになります。めいほくホームの晩酌会は、みなさんにとって「居心地のよい家」を実感できるひとときです。

めいほく友の家

わたしたちのとおきおきの時間

友の家では、毎週金曜日の午後「友の家喫茶」を行います。

「友の家喫茶」の時間は、一週間の振り返りや来週の予定の確認をしながら、それぞれの仲間の好きなおやつや飲み物を堪能します。おやつや飲み物は、各フロアで相談して決めたものや、自分で購入したものです。



自分で購入したお菓子を他の仲間におすそ分けする仲間、大きな容量で購入した飲み物を他の仲間のコップに注いでくれる仲間もいます。ある仲間は、たくさん仲間と一緒に喜んで欲しい、笑顔になって欲しいという思いで「コーヒー」をオープンしました。その名の通り、スタッフがマスターとなり行っているカフェです。金曜日朝に仲間や職員の注文を受け「友の家喫茶」の時間に配達をしてくれます。マスターは朝から気合が入り、誰よりも早く準備に取り掛かります。配達し終えた後は、みんなの笑顔を見ながら幸せそうにコーヒーを

飲まれています。

語らう幸せな時間になっています。

わくわく安井の家

自分らしく働く幸せ

わくわく安井の家でやっている仕事は「缶つぶし」です。アルミ缶を空き缶つぶし器にセットしてもらい、足でつぶれるまでしっかりと踏んでつぶしています。

缶をつぶしているときに周りの仲間が楽器や太鼓をたたいて数を数えたり、「頑張つて！」と声をかけて応援したり、一個つぶすごとにハイタッチをしたりと盛り上がりがあります。その応援を背に受け、机に手をかけて踏む人、職員の手をとりながら踏む人などそれぞれのやりやすい方法でつぶしま





「友の家ホームいっぽ」の前には公園があり、季節の移ろいを感じるができます。桜、あじさい、イチヨウ、落ち葉、モクレン、椿や虫たちもやってきます。今年

季節を感じる暮らし

友の家ホーム

す。作業前に「今日は200個やる！」と自分の目標を掲げて取り組み、達成したらみんなで喜びあいます。
自分だけではなく、フロアの仲間とみんなで取り組んでいる大切な仕事です。

もホームの部屋にカメムシがよく入ってきていました。

夏には盆踊りがあり、今年初めて参加しました。賑やかな様子を楽しみました。

以前、訪問カットに来てくださっていた美容師さんに出会い、「ひさしぶりですね」などとお話することもできました。

身近で行われる催しにたくさん参加したいなと思います。

めいほく鳩岡の家

実習生を受け入れて

この夏、鳩岡の家には、看護学生さんや福祉を学ぶ高校生・専門学校生など、たくさんの実習生を迎えました。

その中でも、2週間にわたって実習に入られたミヤンマー出身の短大生さんの時間は、とても印象深く、楽しいひとときとなりました。

母国では介護の制度や技術がまだ十分に整っておらず、「日本で学びたい」と来日された彼は、毎日とても熱心に実習に取り組まれ



ていました。最初のうちはお互いに戸惑う場面もありましたが、実習の後半には一緒に「仲間たちキラキラ」を歌い、踊るまでに打ち解けることができました。

国や地域の違いを超えて、共に過ごしたこの時間は、彼にとっても、鳩岡の家にとっても、大きな学びと喜びのある貴重な経験となりました。

町北ホーム

おかえりが聞こえる家

毎日夕方4時近くになると、仲間のみなさんが順番にホームに帰ってきます。「ただいま〜！」「おかえりなさい〜！」の声が、各ユニットから聞こえてきます。

「ねえ、今日は〇〇やったよ！」と日中事業所で楽しかったこと、がんばったことなどをうれしそうに教えてくれます。時には、なんだかしょぼりした表情で帰ってくることも……。そんな様子をみながら職員は一人一人に声をか



けたり、話を聞いたりします。帰ってきたら手洗いも忘れずにインフルエンザやコロナにできるだけかかりませんように。その後はリビングや自分の部屋で水分補給をしながらホッと一息。ゆっくりとホームでの時間が流れ始めます。さあ一日の疲れを癒して、明日へのエネルギーを充電しよう。



保育部

めいほく保育園

いもほりといもつるあそび

いもほりでは、去年のサツマイモよりも大きく、数も多く掘ることができました。みんなで同じつるを引っ張って協力して抜き合う姿や「こつちもあるよ〜！」と教え合いながらみんなでたくさん見つけた！という気持ちが感じられて素敵だなと思いました。

顔よりも大きいサイズのサツマイモを掘れた子もいて目がキラキラ輝いていました。

掘り起こすと幼虫がたくさんいて、「何の幼虫かな?」「○○じゃない?」「こつちにもいるよ!」と見つけた嬉しさを共感しあう姿もありました。

いもつるあそびでは、つるが切れにくく、しっかりしていたので頑丈な「ブランコ」をつくらう!ということになり、保育者と子ども



もたちでどうしたら頑丈なブランコができるのか試行錯誤しながらつくり、無事できるとみんな嬉しそうに何度も乗って楽しむ姿もありました。また縄跳びや綱引きを楽しんでいました。来年もいもほり・いもつるあそびを楽しめたらいいと思います。



第二めいほく保育園

あい共連 給食室実践提案

第二めいほく保育園では4年程前から育児担当の保育に取り組んでいます。給食職員も食の分野に限らず、子どもの発達や保育環境なども学びながら給食づくりを行っています。今回の実践提案を機に改めて保育と給食の連携について見直しました。

今までは一律同じ時間に給食を作り終えていました。また、形態も統一していました。しかし、保



育の取り組み方が変わってきたところで子どもの食べる時間に合わせて給食を作り終える時間を変えたり、子どもによって食べられる大きさや柔らかさが違うところになるべく一人ひとりに合わせた形で提供することにしました。

実践交流の中で皆さんと深めることで自園給食だからできるきめ細やかな対応や、保育と調和した給食の在り方、大切さを実感することができました。

めだか保育園

パパと遊ぼう!親子ビクス

園の2階にある『めだかひろば』は、未就園0〜2歳児が利用できる地域の遊び場です。育休を取るパパも増えたので、父子でも利用できるきっかけ作りにと、親子体操の青木先生を招き『パパと親子ビクス!』を土曜日に開催しました。パパが身体を使ってトンネルになってお子さんをくぐらせたり、腕を伸ばして高く抱き上げたり…。お子さんが床に手をついて、足首をパパが持ちあげる動き



では、「この姿勢はお子さんの腕力や、脚力に繋がりますよ」と伝えました。最後は大きなパラバルーンを使って、パパ全員で動かしながら汗をかいて楽しみました。今後も同じ年代の子を持つ地域のパパにも気軽に保育園に遊びに来てほしいと思っています。

やだ保育園

鮎の塩焼き

在園の保護者の方が釣った鮎を今年も頂き、5歳児の子どもたちで塩焼きにしました。子ども達で



はらわたをとった鮎に、串を刺し、塩を振っていきます。異年齢の中で、昨年の5歳児の子ども達がどうやっていたのかをよく見ていた子ども達。「目からさすんだよね?」「火で焼くんでしょ」と自分たちでできることがうれしい様子でした。園庭で火起こしを行い、その場で焼いて食べます。火の熱さや煙、焼けるにおい、ひとつひとつを五感で感じながら焼き上がりを待ちました。できあがると丸ごとかじりつき、「おいしい!」「骨がある!」と夢中で食べていました。そして、そんな様子をいっしょにおへやですぐす他の子ども達がじっと見えています。火起こしをさりげなく手伝いにくる4歳児の子

砂をさわってしぐさをまねする1歳の子。子ども達の中で体験や思いが継承されていることを実感しました。

なえしる保育園

お店屋さんごっこ

なえしる保育園では日頃遊んでいる取り組みをおうちの会として、保護者の方と一緒に遊ぶ会があります。

かりんのおうちでは、色々な材料を使って想像を膨らませながら製作することが大好きな子が沢山います。お肉のトレーや牛乳パックに、海や川にいる生き物の絵を描いて釣り竿も作り、魚釣り大会を開催して他のお部屋も招待して盛り上がったたり、かき氷屋さんや喫茶店(コマダ)ごっこを楽しんだり、クレーンゲームが好きな子が段ボールやカップを使ってリアルに再現したりと、作ったものであそぶことをとても楽しんできました。おうちの会当日は、今まであそんできた喫茶店、なんでも屋さん、魚釣りコーナー、クレーン



ゲームコーナーの店員さんやお客さんになりきって、盛り上がりました。

めいほくつばみ保育室

お月見会〜ホットケーキクッキング

「おつきみおぼけ」の絵本がお気に入り、お月見に興味をもった子どもたち。お月見会ではお月様に見立てたホットケーキ作りをしました。一人ずつ泡立て器で「おいしくなれ」と混ぜた後は、子どもたちの前で保育士がホットケーキを焼いていきます。保育士がホットケーキをひっくり返すたび「おー!!」「イエイイ!」と歓

声をあげ、大盛り上がりでした。仕上げに、うさぎの型紙の上に粉砂糖を振って、うさぎの模様をつけました。みんなで作ったホットケーキは大人気で、給食の後も食べたいという子どもたちのリクエストから小さいホットケーキも焼いて、食後のデザートでもホットケーキを楽しみました。



くさのみ保育所

お散歩たのしいね

くさのみ子ども達はすぐ近くにある志賀公園にお散歩によく出かけます。広くて自然も多く地域の方々の憩いの場所にもなっています。犬のお散歩やウォーキングをしている高齢の方に声をかけら

れあいさつしたりお話するとお互いに心が和みます。

今は木々の葉っぱが赤や黄に色づいてとってもきれいな季節です。いちよの葉っぱがいっぱい落ちているところを見て「きいろ、きいろだね〜」お話ししている子どももいました。落ち葉の上を歩いてカサカサと音をだすのを楽しんでいる子どももいます。2歳児さんはお散歩バックにどんぐりや葉っぱをいっぱい詰め込んでおみやげにして帰ってきます。お庭の砂場でそのどんぐりを使ってままごとをしたり、砂で作ったお山の上からどんぐりを転がして遊ぶ姿もあり遊びが広がります。



ちびっこまつり やだ保育園

やだ保育園では保護者会が主催となり、子どもたちのために「ちびっこまつり」を開催しています。今年度も保護者の方々が中心となり、様々な楽しい企画が実現しました。職員提供の食事コーナーや、名北福祉会のクッキー売り場、外部の方を招いての科学ショーや、和太鼓、どんぐりでのおもちゃ作りなどのあそびコーナーも盛りだくさん。今年度はやだ保育園が民間移管して10周年ということもあり、大きな「10」のバルーンを背景にしたフォトコーナーにもぎわいました。在園の子どもたちはもちろん、転園や卒園した子ども達、地域の子ども達や高齢の方も多くの方が足を運び、懐かしい再開や楽しい交流の場になりました。「子ども達のために」という思いと協力が、人と人のつながりを作り、地域の輪となりました。



高齢部



グループホームめいほく

できることを活かして

グループホームめいほくでは、利用者さん一人一人の生活リズムに合わせた個別ケアを大切にしています。特に表情の変化や行動の



サインを見逃さないように観察し、認知症の方の思いに寄り添いながら共感し、利用者さんのその人らしさを尊重したケアに繋がっています。利用者さんの楽しみや生きがいにつながる、お出掛け、秋祭り・クリスマス会等の行事に参加してもらう事で、普段は見られないような笑顔や交流が生まれます。

お出掛けやイベントを通して、認知症の方でも「できること」を活かせる場を作る事を大切にしています。また、イベントを通して、グループホームめいほくを地域の方に知ってもらう事に繋がっているとありました。今後も利用者さん一人一人の思い出や季節を感じられる企画を続けていきたいと考えています。



めいほくの家

一日一笑、笑う門には元気がくる？

めいほくの家では季節ごとの行事を通して一人一人の「生きがい」や「やりがい」を大切にしています。

毎月変わる壁面製作をはじめ、秋には運動会を開催。

選手宣誓・競技を利用者と職員が力を合わせ行い、時には笑いありと一緒喜びを感じることができました。行事や生活の中で役割りをみつけ、職員含め一人一人が



活躍できる場を作りながら、誰もが一日一笑できる毎日が続けていくことが目標であり今後も大切にしていきたいと思えます。

デイサービス町南

地域のつながりに支え支えられて

「干し柿するなら柿あげるよ。」
「金柑ができたから取りに来ていよいよ」とお声がけいただけます。そんな昔懐かしいご近所付き合いがあります。お琴を演奏してくれたり、歌謡曲を披露してくれる元介護者さんも。終わった後は拍手



拍手です。身近な芸術を皆が楽しんでいます。草が伸びたところに、草取りや花を植えてくれるご近所さんもいます。

毎日のように、公園、ご近所に散歩等出かけます。ドライブも大好きです。散歩中には気軽に声を掛けて下さる方も多く皆の励みになっています。そんな昭和の下町のような関係です。デイサービス町南。地域のつながりに支えられて、いつも笑顔と笑い声がたえません。

めいほく町南の家

町南の家の毎日

小規模多機能は「通って、訪問サービスを受け、泊まる事もできる」事業所です。毎朝送迎しながら生活に欠かせない品物を届け、バイタルチェック、食事摂取量の確認、空調や服薬管理、薬のセツト、ゴミの回収と分別。リネン交換、食料等の在庫確認等も。

施設では体操やレクリエーション等取り組む方や、並行して入浴や通院、訪問対応、時々泊りの方



も。ケアマネージャーも含め同一事業所内で、利用者の皆さんの在宅生活を支えますが、限られた時間と人員です。通所時、在宅時どちらも皆さんに安心安全に楽しく過ごしていただけるよう、暮らしをどう支えるのか等、ご本人の思いを大切にスタッフ一同で相談し、共有し、チームワークで毎日を過ごしています。



ぼちぼちカフェ

毎月第3火曜日14時より茶食ぼちぼちで行われている「ぼちぼちカフェ」は、スタートしてから今年で10年となり先日名古屋市認知症相談支援センターから表彰されました。

福祉センターができてからは、茶食ぼちぼちを拠点としてぼちぼちの職員さん、めいほく保育園の先生やグループホームめいほく、めいほくの家の皆さんにも協力いただいて運営しています。



今月はクリスマス会で盛り上がり、1月は新春のお楽しみ会です。これからも上飯田地区に根差した活動の一つとして、地域の方が気軽に参加できる「ぼちぼちカフェ」でありたいと思います。



地域生活部



ヘルパーステーションそら

名北の理念である「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめる、福祉の充実をめざす」を掲げて職員一同が成長できる年を目指します。今年の抱負は、「専門性の深化」と「地域連携の強化」です。研修を増やし、質の高い介護を提供することで利用者様の「安心」と「笑顔」を支え続けます。昨年

12月、特定事業所加算（介護）と愛知県の特知行為（喀痰吸引・胃



ろう・腸ろうによる経管栄養）事業所登録が認められました。これは「質の高いサービス提供、ヘルパーの専門性」など良い事業所として認知されている証です。この一年も、地域社会に深く根ざし、きめ細やかなサポートを徹底して参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

相談支援センターめいほく

支援の主役は、ご本人だということが最も大切な視点です。生き方や希望など尊重し、ご家族等の想いをくみとり、ご本人にとって最善の利益につながる支援を心がけています。困り事や希望はそれぞれ違いますので、まずは、じっくりお話を聴くことも大切です。言葉だけでなく、その背景や気持ちに寄り添い、医療や福祉、行政など多職種と連携しながら、ご本人が地域で、その人らしく生きら

れるよう支援していききたいと考えています。

居宅介護支援事業所 ケアプラン町南

地域に根ざし、ご本人やご家族のお気持ちに寄り添った支援を大切にしています。医療・介護・行政と密に連携し、住み慣れたご自宅で安心して暮らし続けられるよう、状況に合わせた丁寧なサポートを心がけています。事務所には、担当の利用者さんが仕事で作ったぬいぐるみや、近所の商店さんからいただいた事業所の名前入りの



ヘルパーさん募集

〈ヘルパー 2 級・介護福祉士〉

障がいを持つ人やお年寄りの生活を支える、やりがいのある仕事です。詳細はお問い合わせください。

時 給 1300 円～1,915 円（手当を含む） ※仕事の内容や時間帯によって違います。

交通費 公共交通の場合実費支給

問合せ先 ヘルパーステーションそら

電話 052-910-0712 （担当）岩橋・坂野

かぼちゃを飾り、地域とのつながりを感じられる、あたたかい雰囲気づくりをしています。いつでも気軽に相談できほっと安心していただける身近な存在として、一人ひとりの想いに寄り添いその人らしい暮らしの実現をこれからもご支援していきます。



障害のある仲間たちのステージ「仲間たちキラキラ」



子どもたちのステージ「エビカニクス」

● 北区で連帯が広がるとうれしいし、力強いです。平和について守る人が増えることを期待して今後も運動していこうと思いました。

●●● 参加者の声 ●●●

のある仲間たちも、高齢の方たちも、外国にルーツのある人たちも、参加者みんなが笑顔だったことが印象的でした。誰も排除しない、ひとりぼっちをつくらない、みんなのちが輝く場を地域でつくれたことに大きな意義がありました。



おもちゃ「カブラ」でみんなで作った原爆ドーム

● 最後にネパールの子どもたちが元氣いっぱい歌ってくれた姿は、私たちがめざす社会を体現しているようでした。平和。戦争させない。すべての人の尊厳が守られる社会に。

上飯田南公園をメイン会場に「上飯田まちかど平和まつり」を開催しました。戦後・被爆80年の今年、世界では紛争が起き、日本でも福祉予算を削り大軍拡が進められ、戦争か平和かの大きな岐路に立たされています。いまだからこそ、地域の誰もが楽しみながら平和について考え合えるイベントを上飯田の地で開催しようと、名

北福祉会をはじめ地域の民主的な団体や労組と協力して準備を進めてきました。当日は多様なステージ企画や模擬店、絵付け体験や映画上映、カフェ、健康チェックや法律相談など様々な企画を行い、想定を超える600人以上の参加があり盛況でした。なにより、子どもたちも、障害

上飯田
まちかど平和まつり

12月7日



茶食ぼちぼち会場「歌うぼちぼち」も満員。高齢部の利用者のみなさんも参加。



まつりの最後は「手のひらを太陽に」を会場みんなで合唱。

ぼちぼちまつり開催

10月25日(土)

第3回目のぼちぼちまつりを開催しました。

来場者おおよそ60名ほど、ぼちぼち店内からふらっとルームまで開放した店内はすぐに満席の状態となりました。



展示コーナーがあったり、健康相談ブースやちぎり絵を体験できるコーナーなど所狭しとブースが立ち並ぶ中、有志の出演者による歌の披露や演奏があり、観ているお客様も一緒に歌いながら、一体感を持ちつつ和やかな時間が流れていました。

北区上飯田地域にお店を構え、美味しい食事を提供しながら日々お客様と関係を築いてきたぼちぼちの人気の高さが伺える一日となりました。これからも誰もが気軽に入れるお店として、地域の中でコミュニティを広げていきます。

めいほく守山まつり

11月9日(日)

第2回守山

まつりは雨天にもかかわらず、利用者さんやご家族、近隣の皆さま、そして学区の子どもたちまで足を運んでくださり、温かい交流の場となりました。屋内イベントは終



始にぎわい、司会の明るい声に包まれて会場全体が和やかな雰囲気。模擬店では串カツ・コロッケ・おにぎりが完売し、各分野が垣根を越えて協力できたことも大きな成果でした。一方で、雨による時間短縮や会場変更への対応など、今後活かせる課題も見つかりました。当日は「雨でも少し立ち寄って、食べて、歌って、コーヒーを飲んでもらえたら」という思いが形になった一日でした。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございます。来年度も一緒に楽しみましょう。

夏休み職場体験実習

今年の夏、人材確保部の新しい取り組みとして職場体験実習を行いました。年ごとに難しくなる職員採用にちよつと距離を置いて、地域の子供たちに福祉のお仕事を体験してもらいたいという思いで企画しました。

チラシを配ると、夏休み中の中学生、高校生から27名の応募がありました。分野別では保育26、障がい3、高齢2と計31日の参加がありました。終了後の感想では「緊張した。疲れたけど、仲良くなれてうれしかった」「保育士という仕事にほのかに尊敬を抱いていたけど、今日体験して、一層尊敬が強くなった」という声が聞かれました。特に保育園OBの参加者が多く、時を経て失われることのない卒園生との強いつながりを感じました。将来の仕事選びは分かりませんが、この「つながり」こそが法人の宝だと改めて知ることができました。

子どもたちの夢や疑問をサポート！
夏休み 福祉職場体験
 福祉の仕事ってどんなことしてるの？
 保育・障がい・高齢の仕事も体験しよう！
 対象 中学生・高校生
 申込み 職員の下部 QRコードから
 保育士・介護士の仕事は大変……って聞いたことあるかもしれないけど、見て聞いて体験すればその楽しさがわかるよ！ぜひ、体験しに来てね！
 詳細は裏面をCHECK!!
 主催：社会福祉法人 名北福祉会



第17回 友の家まつり

11月15日 (土)

晴天のもと、友の家まつりを開催しました。実行委員の家族や職員・仲間たち、地域の協力者のおかげで、盛況のうちに無事終了することが出来ました。今年の友の家まつりは、地域を巻き込み「みんなで楽しもう」と地域に種まき作業を行ってきました。6月より毎月第一水曜日に楠支所で行われる「くすのつちいちば」への参加、また第3水曜日に友の家北側玄関で「友のお店」を再開しました。

法人内の商品の販売と友の家のパンフレットや友の家マガジンの展示・配布、配信しているインスタグラム登録の声掛けをおこないました。参加してきたことで地域と繋がりがりや輪が広がりました。友の家まつりに結び付くことが出来ました。

北区こどもまつり

11月23日 (日)

今年のごどもまつりは、例年の9月から11月に変更し、天候に恵まれ2年ぶりに実施することができました。名城公園の改修工事もあり、同じ公園内ではありますが、場所も変わり、心機一転という雰囲気でした。

当日は、北区こどもまつり実行委員会参加団体に加え、協力団体の皆さまにもご参加いただき、より賑やかなものになりました。

遊びのコーナーは乳児から楽しめる伍落としたり万華鏡づくりだけでなく、楽器作りや景品をもらえるコーナーもあり、「もういつかやりたい！」と繰り返し楽しむ子どもたちの姿が見られました。

ステージ企画では、前後の団体同士が声をかけあい、一緒に踊る場面もあり、アットホームな雰囲気の中たくさん笑顔がありました。

来年以降も豊かなあそび文化を通して、みんなで一緒に育つ喜びを共感する場にしていくけたらと思います。



第48回 きょうせれん全国大会

今年10月、奈良県で開催された全国には、全国から2,200名が参加し、名北福祉会障がい部からも16名が参加しました。大会では、奈良で初めての開催という節目のもと、戦後80年をテーマにした特別シンポジウムや、全国の実践に学ぶ分科会など、多彩な企画が行われました。会場では、地域のボランティアに支えられながら、障害のある仲間たちの笑顔や交流があふれ、学びと出合いの深い二日間となりました。参加した職員は、他法人の実践に触れ、自事業所の支援や日々の関わりに活かしたい気づきを多く持ち帰っています。今回の経験を今後の活動に生かし、地域に根ざした支援の充実につなげていきます。



公開講座

ノーベル平和賞
から核廃絶へ



12月18日、名北福祉会公開講座として、「戦後・被爆80年 ノーベル平和賞から核廃絶へ」草の根の運動を〜大村義則氏講演会が行われました。当日は、法人の職員研修としての参加もあり、オンラインで総勢150名の参加がありました。

ノーベル平和賞受賞式の様子、原爆の恐ろしさ・真相、日本が唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に署名・批准していない矛盾、被爆者のみなさんが二度と被爆者をつくらない思いの一心で取り組んでこられた草の根の活動の

こと、どれもが驚きと心を動かされることの連続でした。そして、講演を聞いた私たちが、今度は語り広げていく役割があることを学ぶことができました。「平和なくして福祉なし」、「平和こそ最大の社会福祉」であることを参加者で確認することができました。

【参加者の感想より】

- 「今日の聞き手は、明日の語り部」ということばが響きました。家族や友人に話をして広げていきたいです。
- 二度と被爆者を生まないために、語り継いでいきたい。
- 被爆者の方が戦争を「地獄」と表現されていました、子どもたちに「地獄」を見せてはいけない、と思いました。
- あきらめずに行動し続けることの重要さを学びました。
- 福祉を充実させることが平和につながるという考えに、福祉に関わる立場として大きく共感しました。



わいわい子ども食堂

プロジェクト10周年

「たった3人からスタート」

「夏休みに。給食がないからやせちゃった」という子どもの訴えから1つの団体でなく北医療生協、名北福祉会、暮らしと法律を結ぶホウネット3団体協同で2015年11月4日に名古屋市内で初めての子ども食堂をはじめました。

初めての子ども食堂の利用者は小学生3人。その翌年には50人、



3年目には1000人を超えるようになり、子ども、親子、高齢の方々の月1度の楽しみの場所になっています。

2018年4月楠地区会館の館長さんのご配慮と地域の民生委員の力添えもあり、あじまわいわい食堂を開設しました。

「コロナ禍では、「つながりを絶やさないと手探りで「食料配布」を始めることになりました。公的支援の重要さを切実に感じました。現在も月1回フードステーションを開催しています。

2023年6月には、めいほくわいわい食堂を開設しました。

緩やかな人のつながりを大切に、何よりも地域の皆さんのボランティア参加こそが宝物であり継続の力になっています。企業・団体・個人の方々の温かいご支援に支えられています。



障がい分野

障害福祉制度改善の署名にご協力ください!!

障害のある人のくらしといのちを守るため、きょうされんが取り組む「第49次国会請願署名」へのご協力をお願いしています。誰もが地域で安心して暮らし続けられるためには、医療・福祉・所得保障などの制度をより確かなものにしていくことが欠かせません。この署名は、その実現に向けた声を国へ届ける大切な取り組みです。趣旨をご理解いただき、署名への参加をぜひお願いいたします。

高齢分野

介護保険制度改善の署名にご協力ください

介護保険制度は、高齢者や介護を必要とする方、そのご家族の生活を支える大切な制度です。しかし現在、介護現場の人手不足、利用者負担の増加、十分なサービスを受けにくい状況など、多くの課題が指摘されています。私たちは、誰もが安心して必要な介護を受けられる制度に改善していくことを願い、介護保険制度の見直し・充実を求める署名活動を行っています。皆さま一人ひとりの声が、よりよい介護の未来につながります。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

保育分野

保育署名ご協力ありがとうございました

2005年11月16日～17日に東京・新宿中央公園にて「すべてのこどもにより良い保育を！ 11.16,17 大行動」が開催されました。全国から大勢の保育者、保護者、子ども達が集まり、新宿の街をにぎやかにパレードしアピールコンテストも行われました。17日には国会要請行動がありました。運動し続けたからこそ現在の保育があります。あきらめずに声を上げ続けることが大切なことを確認しました。署名は引き続き取り組みます。



子ども一人で入れる食堂！

めいほくわいわい食堂

日 時：毎月第二水曜日 17：30～19：00
 場 所：茶食ぼちぼち・ふらっとる一む
 メニュー：カレーライス（なくなり次第終了です。）
 こども0円 大人300円 高齢者100円
 ☆食事前におもちゃコーナー開設しています
 主催：わいわい子ども食堂プロジェクト
 TEL 080-3636-5151
 （北医療生活協同組合・くらしと法律を結ぶハウネット・
 名北福祉会）



ほっとできるひとときを

認知症カフェ ぼちぼちカフェ

開催日：毎月第3火曜日
 時 間：14：00～15：00
 場 所：茶食ぼちぼち
 ☆みなさんがやりたい事など参加者の声で運営しています。
 ※介護保険や健康のことなどご相談ください。
 問い合わせ：法人本部 TEL 052-910-3066



名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共に作りましょう！！

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。

☆今回の法人だよりに、すべての方（会員の方も含む）に支える会のリーフレットを入れさせていただきました。ぜひ加入をよろしく願い致します。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。	〈振込先〉
会 費 正 会 員 1ヶ月 1口 500円（何口でも）	郵便振替口座
賛助会員 1ヶ年 1口 1000円	加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会
団体会員 1ヶ年 1口 5000円	口座番号 00860-8-127322

名北福祉会では
 各園・事業所で
 正規職員を
 募集しています
 ぜひご応募ください

◆募集業種

保育士・生活支援員等・介護支援専門員（ケアマネージャー）

◇応募から採用まで

①書類選考 ②実習・実地体験 ③レポート提出 ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当 TEL052-910-3066

カフェ茶食
 ぼちぼち



地域の中で“みんなが集う場所”として茶食ぼちぼちをよろしくお願ひします。みなさんのお越しをお待ちしています。

〈営業日・時間〉

月曜日～金曜日⇒7：30～16：30 モーニング（7：30～11：00）

土曜日・祝日⇒8：30～15：30 モーニング（8：30～11：00）

ランチ月曜日から土曜日・祝日⇒（11：30～14：00）

*金曜日夜の居酒屋ぼちぼち、麻雀や歌声喫茶、認知症カフェなどもやっています。

場所：みなみ町福祉センター1階 電話：052-911-5188

